

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第3回津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会
2. 開催日時	平成24年4月24日(火)14時00分から16時00分まで
3. 開催場所	津市市民活動センター 会議室1 (津市大門7-15 津センターパレス2階)
4. 出席した者の氏名	委員) 木下委員、後藤委員、相沢委員、小椋委員、 野口副市長 事務局) スポーツ文化振興部部長 野呂 スポーツ文化振興部次長 新家 スポーツ振興課 課長 川北、主幹 川合 副主幹 谷口、主査 藤川 日建設計) 小谷設計部長
5. 内容	1. 副市長挨拶 2. 議事 (1) 津市屋内総合スポーツ基本設計について ・第2回検討委員会の内容整理について ・各種スポーツ団体へのアンケート調査結果について ・基本設計進捗状況について ・基本設計概要版の作成について ・アスリートモールの活用方法について 3. その他 ・第2回検討委員会議事録の確認 ・第4回委員会の開催について
6. 公開又は非公開	公開
7. 傍聴者の数	0名
8. 担当	津市スポーツ文化振興部スポーツ振興課企画管理担当 電話番号 059-229-3375 E-mail 229-3373@city.tsu.lg.jp

・議事の内容 下記のとおり

<p>事務局（川合）</p>	<p>定刻になりましたので、ただ今より津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会を開催させていただきます。本日は御多忙中にもかかわらず、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本会議は、津市情報公開条例第23条の規定に基づき、公開として、市民一般の方の傍聴席を設けますとともに、会議の結果について、住民への説明責任の一層の向上を図る必要がありますことから、会議における発言者の氏名を含め、公開することとなりますので、御了承の程よろしく願いいたします。また、議事録については後日津市のホームページに公開をさせていただきます。</p> <p>それでは早速でございますが、本委員会の開催にあたりまして、副市長の方からご挨拶させていただきますが、その前に委員の皆様には事前に御案内を申し上げておりますが、本年4月1日をもって津市副市長に就任をいたしました青木副市長、4月1日付けでございますが、副市長事務分担の変更がございまして、野口副市長から、スポーツ文化振興部の所管が青木副市長となりましたことから、当委員会の委員につきましても、4月1日付けをもちまして、青木副市長が就任することとなりました。それでは開催にあたりまして青木副市長よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>青木副市長</p>	<p>よろしく願いいたします。4月から担当の副市長になりました青木でございます。私、スポーツの関係と言いますと、若い頃は山登りをやっておりまして、その後、だんだん歳と共に沢登りとなり、溪流釣りになり、最近魚がいないとすぐ帰るというような事しかやっておりませんが、このスポーツ施設、津市ではなかなか立派な物が分散しているという事でございますが、皆様の御意見をいただきまして、より良い物を作っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>事務局（川合）</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日も津市屋内総合スポーツ施設設計業務の受託者でございます。日建設計株式会社名古屋オフィスより担当の皆さんにお越しいたいております。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは早速議事に入らせていただきます前に、会議の成立について御確認させていただきます。</p>

	<p>本日は委員 5 名中、全ての委員に全員ご出席をいただいております。「津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会設置要項」第 6 条 2 項の規定に基づき、委員の半数以上の方に御出席いただきまして、会議が成立いたしました事をご報告させていただきます。</p> <p>それでは木下委員長、議事の進行につきましてよろしく願いいたします。</p>
木下委員長	<p>それでは委員の皆さんよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、事項書に沿って進めさせていただきたいと思います。</p> <p>まず 1 つ目の議事ですが、「(1) 津市屋内総合スポーツ施設基本設計について」という事で、事務局の方からご説明をお願いいたします。</p>
事務局 (川合)	<p>それでは、お手元の資料に基づきまして設計者の方より順にご説明させていただきますが、お手元資料の御確認でございます。</p> <p>まずお手元の方に、事項書の一番上につきました資料でございます。資料 1 から 2・3・4、資料 5 まで。それから A4 版といたしまして綴ってございますのが、委員会会議の結果報告、資料 6 という形になります。それから A3 一枚二つ折りにしてございます「基本設計概要版」という事で今回お示しさせていただきますが、こちらの方を資料 4 という形になります。申し訳ございません。</p> <p>以上の資料がお手元に配布をさせていただいております。それと今回の 4 月 1 日付けで変更になりました委員名簿の方を置かせていただいております。お手元資料の不足等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、資料 1 の方からご説明をさせていただきたいと思いますが、資料が多くございますので、それぞれ資料毎にいったん抜いていただきまして、委員の皆様方からの御意見等を踏まえたお話を頂戴いたしたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
日建設計 (小谷)	<p>日建設計の小谷でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>お手元の資料に基づきまして、ご説明させていただきたいと思っております。まず、資料 1、この事項書の次に綴じられている資料を 1 枚めくっていただきまして、資料 1 と書いてございます。そこの画面に映っておりますが、先月、3 月 17 日にシンポジウムが行われ、設計検討委員会におけます委員の皆様方の御意見に対しての対応という事でお話しをさせていただきたいと思っております。</p>

シンポジウムの時の議事録はまた後程資料を資料 6 ということでまとめたものを配布させていただいておりますが、その中から施設計画に関わる内容を抜粋しまして、取り上げましたのが資料 1 でございます。この内容につきまして、順番に説明させていただきたいと思っております。

まず、1 番目、新たな施設の愛称を考えた方が良いのではないかという御意見がございました。これは施設設計とはまた違う立場でございますが、今後ネーミングライツ等に関しては広く市民に募る等考えていきたいという事で考えさせていただいております。

それから、国際大会開催時を踏まえ、選手目線を考慮してそれぞれを配置して欲しい。選手控室にもトイレを設けるなど、それから観客や一般の人の動線を混同しないように計画して欲しい。これは本日後ほど基本設計の進捗状況をご説明する時に、詳細のプランをご説明したいと思っております。

3 番目、選手とファンの動線が混同しないように、安全で安心できる仕切りを設けて欲しい。それぞれが有効なスペースを確保できるようなわかりやすい区分けと動線を検討します。

4 番目、さまざまな競技者とコミュニケーションが取れたり、子供も大人も一緒にスポーツをすることで、コミュニケーションが広がる施設としたい。ユニバーサルデザイン対応、それからキッズルームを設ける事で年齢に関わらず多くの人に利用される施設を指しますという事で、今現在設計の方に反映してきております。

5 番目、選手控室にはシャワーを設置して欲しいという事ですが、設置します。

6 番目、環境負荷を少なくする配慮がして欲しい。これは様々な環境配慮手法を検討採用する事でライフサイクルコストの縮減を検討いたします。様々な環境配慮手法について御提案しておりまして、順次説明と採用についての打ち合わせをさせていただくという事でございます。

7 番目、災害時やイベント時の使い勝手を配慮して欲しいという事。これは昨今言われておりますBCP対応といたしまして、災害時の活動拠点となる施設を想定した施設として検討をしております。

8 番目、周辺環境への配慮をして欲しい。特に田園風景、いろいろな敷地周辺環境への配慮という事でございますが、施設外観は周辺の山並みのイメージするとともに、周辺景観に配慮いたしまし

た。施設ボリュームを分散して、アーチ型の屋根の乗っける事で、周辺に対してできるだけ大きなボリュームにならないようなそういう感覚で配慮しております。

9 番目でございます。幅広い年代層の利用者を受け入れてくれる施設として欲しい。これやはり、先程の4番と同じ対応でございますが、ユニバーサルデザイン対応や、子どもの施設を設けるという事で対応をしております。

10 番目、怪我をしない施設として欲しい。運動がという事で、できるだけ怪我の無いようにという事で、コーナーガードを設けるとか、壁面にクッション性のある素材を使うとか、それを含んで安心安全に配慮するようにしたいと思っております。

11 番目、アスリートモールの利用方法について提案が欲しいという事で、これは本日後程アスリートモールの利用イメージという事で資料を用意いたしましたので、その時に説明したいと思っております。

12 番目、プールについては、大きなガラス張りはあまり望ましくないという御意見。これはガラス面ではありますが、半透明のフィルムを貼る等の対策を検討したいと思っております。

13 番目、プールに稼動床を設置するのであれば、飛び込みや潜る体験といった様々なニーズに答えられるようにして欲しいという意見がございました。これについては検討いたしました。ただ全体のコストの関係もございまして、固定床ということで現在検討をしております。

14 番目、シャワーの衛生面に配慮して欲しい。これは十分排水の勾配の事とか、施設の形態、そういう部分で衛生的になるように配慮したいと思っております。

15 番目、アスリートの方々のメダルなどをお借りして、簡単な展示コーナーのスペースがあれば良いという意見。これにつきまして、アスリートモールの使い方の中で事例を示したいと思っております。展示コーナーのような物を設けるという形で考えたいと思っております。

16 番目、広い駐車場、スポーツでの利用を検討して欲しいという意見。これは検討いたしましたけれども、通常は駐車場で、車止め、車輪を止めるような突起をつけるのですが、あえてそういう物をつけないようにして、時には広いスペースとして使えるという事で、今後、利用方法については検討していきたいと考えておりますが、

木下委員長	<p>できるだけいろいろな使い方ができる形態にしたいと思っております。</p> <p>17 番目、屋外でテントを張って飲食ができるスペースがあれば良いという意見がございました。これも、エントランスプラザや屋外展示場という物を設けておりますので、この部分で様々な屋外での活用もできるような対応を考えたいと思っております。</p> <p>以上、抜粋ではございますが、まずは前回の委員会の皆様の御意見について検討をお伝えしております。</p>
事務局(川合)	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>前回のシンポジウムは特に委員の皆様の御意見と、その対応についての御説明をいただいたという事ですが、これについて何か御意見・質問がございましたら、お願いしたいと思います。</p> <p>触れられている内容以外にこう言ったのではないかとか、ああいう話があるとか、よろしくお願ひいたします。</p>
木下委員長	<p>すみません。</p> <p>一部資料の訂正をお願いしたいと思います。資料 1 の 11 番と 15 番のところなのですが、それぞれ、資料 6 と書いてありますが、資料 5 と書き直してください。申し訳ございません。</p>
野呂部長	<p>いかがでしょうか。</p> <p>プールですが、後藤委員の方から可動にするのであればというような意見をいただきまして、いろいろ検討いたしました。</p> <p>やはり、可動にすれば建設コストも高くなりますし、メンテナンスコストがかかるという事と、せっかく作るのであれば競技ができるような 1m35cm と深いプールをという事をもありますが、今の市民プールの利用実態から考えれば、やっぱり固定で、少し浅めのプールで、競技というよりは、普段その健康増進とか、ウォーキングとかそういう事で使っていただくプールの方が望ましいのではないかとこの事で、方向としては固定の床という方向で、今検討をしています。あと、どうするかと部分でいえば、材質をタイルにするのか、FRP にするのか、この辺は検討しております。</p>
木下委員長	<p>そういった意見も踏まえて、いかがでしょうか。</p>

木下委員長	こちらでまとめられているのは、委員の皆様の中から出た意見だと思います。最後に質疑応答で会場の方からいろいろ御意見があったかと思うのですが、それについては。
日建設計（小谷）	本日ちょっとまとめてはないのですが、引き続き検討の必要のあるものについては検討していきたいと思っております。その時にお答えさせていただいた事については、こちらの黄色い方で確認させていただきたいと思っております。
木下委員長	整理されておいた方がいいと思います。言っぱなしという事ではなく。
日建設計（小谷）	そうですね。
木下委員長	いかがでしょうか。 対応策のところ、いろいろ語尾に「検討します」とか「目指します」とか「答える」とか「配慮します」とかいろいろな表現になっているのですが、それはやはり、意見を述べた方としては、具体的にどう対応されているのかという所が本当は知りたいという所です。「検討しています」というけれど、「結局採用された、いろいろあって採用されなかった」という事が結構ありますので、その辺の真意とかを具体的な対応についてこちらとしては知りたいと。その辺はどうでしょうか。
日建設計（小谷）	今日の御説明、特に平面計画的なエリアのゾーニングとか、施設内容詳細とかは今日プランニングとかお示しできますので、具体的に今日お示しできるものと、もう少し基本的にはこの方向で考えたいと思っておりますが、具体的な内容は、今日はまだお示しできない所もありますので、その辺につきましては、決まった段階で改めて説明をさせていただきたいと思っております。
木下委員長	この時点でどうではなくて、必ず報告するようにはしていただければと思います。
日建設計（小谷）	はい。

<p>木下委員長</p>	<p>いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>それでは次の議題の方に行きたいと思います。資料 2 の内容の説明をお願いいたします。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>では、続きまして、資料 2 の方の説明に入らせていただきたいと思います。資料 2 の方は、各津市内のスポーツ団体の皆様にアンケートという形式で御意見をお伺いするという形をとらせていただきました。そのアンケートの内容について、それぞれの対応についてまとめたものでございます。非常にたくさんの御意見、各競技団体の皆様からいただいておりますので、本日は少し、簡単にではございますが、こちらの方で抜粋させていただいて、読み上げさせていただきたいと思います。黄色にマーキングさせていただいている所だけまずは抜粋して、読ませていただきます。</p> <p>まず、1 枚目の資料でございますが、2 番目、津市の体操協会の方からの御意見でございまして、「メインアリーナに体操器具一式をセットできるようにしたい」という事で、今現在ずっと体育館、メインアリーナの床には、それぞれ球技のラインが書いてある訳ですが、それとは別に体操競技の対応が可能にというような御意見がございました。それはもちろんそれぞれ、機械体操の競技ができるように床面整備、特にいろいろな器具を建てるための基礎をと、そういったものの対応をしていきたいと思っております。</p> <p>3 番目、バレーボール協会の方からの御意見で、「50 人から 100 人程度利用できる会議室が欲しい」。これは複数の会議室という事で、控室の部分とか多目的に使えるスペースを計画しています。それから隣接するメッセの会議室も利用を考えるとという事で考えております。</p> <p>1 つ飛ばしまして、空手の協会の方から「武道場とサブアリーナを、間仕切りで一体として利用したい」という御意見がございました。これにつきましては、武道場にサブアリーナ、大きな施設を可動な間仕切りで一体とすると相当大変なコストがかかるという事でございますし、今現在の計画では間に共用の器具庫を設けるというような計画で考えておりますので、一体利用は少し難しいかというふうに考えておまして、別棟で考えておりますという回答にさせていただきます。</p> <p>津市の水泳協会の方の中からの御意見でございます。「シャワー</p>

が少ない」という意見で、これは、施設規模を考慮した必要数を検討いたしますという事を書いておりますが、今現在、平面計画の中に入れているシャワーの数は、類似の事例をいろいろ調べまして、その類似の事例から判断して設けているシャワー数でございますが、実は今日お見せしますプラン、後程説明いたしますが、少しプラン変更をしております、改めてシャワーの検討については見直しをしたいと思っておりますが、いずれにせよ、類似施設規模からの推定で必要数をシャワーについては設けていきたいと考えております。

同じく水泳協会の方から車椅子利用者に対応しているかという事で、これはプールサイドに入水用のスロープを設ける事としております。

柔道の協会の方からでございますが、「正規の試合場が10面確保できる事」という事で御指摘をいただきました。今現在、武道場は4面の武道場になっておりますが、メインアリーナを使う場合はメインアリーナに9面、それからサブアリーナを使う場合はサブアリーナ側に6面という事で、合計して最大19面の柔道場の設備が確保する事ができるという事になっております。

同じく柔道場ですが、「柔道場・剣道場の中央の柱は必要無いのでは」。これは一時期、アンケートをお願いした時には、間に柱が建っているプランを書いておりますので、これは無くす方向で検討いたしますとしています。

次のページに移りまして、スポーツ少年団の方の空手の担当の方からの御意見がございまして、「アリーナ・観客席共にスムーズな出入りが可能となるための十分な広さの出入り口を設置して欲しい」。大会では出口が混雑するためという事で、これは防災上の観点からもございまして、十分な出入り口の広さを確保するようにいたします。これから防災計算をしていきまして、必要な出入り口幅を確保していきたいと思っております。

「十分なトイレ数を確保して欲しい。特に女性用」という事で、1階2階にそれぞれ必要十分な数を設置いたしますという回答すると同時に、これはプロポーザルの時の提案にもございまして、設置数を変えられる可動な間仕切りでイベントに応じた対応ができるようにしたいと思っております。

1つ飛ばしまして、サッカー協会の方から。「各アリーナの壁にボールが当たっても壊れない構造、またはボールネットを設置する

等でフットサルの利用を可能として欲しい」これはフットサル利用時には、ボールネットを張るようにしておきます。

「コートを 1/3 に仕切れるネットが欲しい」メインアリーナは 3 分割、それからサブアリーナは 2 分割対応としております。

津市のスポーツレクリエーション協会の方。「外庭、または屋上においてのペタンクやグラウンドゴルフなど、ニュースポーツの可能な施設が欲しい」、屋上スペースについては現在緑化し、さらに食事や休憩スペースとしての活用を予定していますが、もう少し屋上広場については使い方を吟味しまして、種目によってはニュースポーツもできるような対応を考えたいと思っております。

三重県のソフトテニス連盟津支部の方。「今、メインアリーナ、サブアリーナがありますが、2 階座席の最前列の壁面を子どもに危険がないように工夫して欲しい。」子供が登れたり、落下する事がないような仕様にしたいと考えております。

次のページでございます。バドミントン協会の方からでございます。「白いシャトルが打ちやすいように壁とか天井に濃い色を採用して欲しい」これについては、今後、小椋さんからも御意見をお伺いして、検討したいと思えます。それから、「上を見上げる機会が多いので、照明をコートにかぶらないようにして欲しい」、どうしても、天井に照明は付けざるを得ない事はございますが、配置については十分検討をしていきたいと思っております。類似の事例もいろいろ見まして、そういう適切な照明にしたいと思えます。それから「風や光の影響を受けやすいスポーツのため、窓やカーテンは電動で開閉にできるようにして欲しい」、これは高い場所に設置する開口部については電動で開閉、それから遮光ができる事を考えております。それから、「団体戦ではコートの周りにベンチを設けるので、コートを広めにして欲しい」。コートとコートの間ですが、大体 3m くらいというように少しゆとりのある計画になっております。

「コートのラインの色は 40mm 幅で白か黄色で、なるべく他競技とかぶらないようにして欲しい」という御意見がありまして、これはバドミントン協会さんの御意見として出ておりますが、それぞれ球技の皆さんの調整が必要なために、今後各球技で検討させていただきたいという事で考えております。

21 番、フェンシング協会の方から。「全国大会などでは、複数面を使用するために、メイン・サブアリーナに放送が一斉に流れるようにして欲しい」これは一斉放送が対応可能なように検討いたしま

	<p>す。</p> <p>津市のスポーツ推進委員会の方からで、「駐車場は人の乗降だけでなく、用具の搬入とかも考えられるので、駐車しない部分も広くして欲しい」、現時点では、駐車 1 台分の車両幅は 2.5m という事で、十分な広さを確保するよう検討しております。「駐車場の出入り口が 2 箇所では渋滞が予想されるという事で、出入り口を多くするなり、方向別に駐車するようにすること」という事で、出入り口については、後程配布資料でも出てきますが、出入り口を増やしまして 2 か所というのではなく、いろいろな方向から入れるように考えております。</p> <p>観客席最前列の手すりについては、競技を見やすくするのと、安全な仕様とするという事で、先程の子どもが落下しないようにという事も含め、合わせてすりの計算については、支障の無い範囲で検討したいと思います。</p> <p>という事で、その後ろに弓道協会からの御要望リストという事で、弓道協会からは非常にたくさんのご要望をいただいておりますのでリストとしてつけさせていただいております、この御要望に合わせる形で今現在平面計画の見直しはしております。</p> <p>それ以外、省略しましたが、基本的にはこのご回答にさせていただきたいと思います。</p> <p>それから先程委員長の方からお話がありました、シンポジウムの時の、一般の方からの質問と、実はこの内容と重複するものがございます、それについてもこの中で答えられる範囲については入れさせていただいたつもりでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
木下委員長	<p>はい。ありがとうございました。各スポーツ団体からの御意見御要望とその対応についての御説明をいただいたという事ですが、それについて何か御意見質問がございましたらお願いしたいと思います。</p>
相沢委員	<p>ちょっと思ったのですが、回答が少し漠然としているのではないのでしょうか。こんな漠然のまま設計の仕様に反映するのでしょうか。それとももう 1 回、例えば「子どもが登れたり落下する事のないような仕様とします」というのは結構乱暴ではないのでしょうか。それはすぐ是非も問わずに設計で出てくるのでしょうか。それともどこ</p>

	<p>かのタイミングで「このようにしました。これを検討してください。」 だとか、もう検討しないのか、どちらですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>基本的には、その方向で検討したいと思います。</p>
相沢委員	<p>「その方向」とはどういう方向ですか？</p>
日建設計（小谷）	<p>子どもが、</p>
相沢委員	<p>違います、私が言っているのは、「これだと乱暴だから、例えば 次の時に、高さを具体的に言って、それが決定になってしまうのか、 別の案が出てきてもう一度議論するのか」という事です。</p>
日建設計（小谷）	<p>それは案をお出しして、御容認いただくつもりにしております。</p>
相沢委員	<p>では、結構すごくなりませんか。ほとんどが漠然としている と私は思ったのですが。</p>
日建設計（小谷）	<p>今の手すりの形状としては設計段階ですので、それにさせていた だきたいと思っております、それぞれ個別に内容についてはご提 案を。</p>
相沢委員	<p>例えば見る人の事を考えると、この子どもの件に関しても、見る 事を考えると、高くすると見づらいではないですか、前の人も。低 くすると子供が危ないですから、その辺はどういうふうにするのか 結構ややこしくないですか。例えばガラスも危ないし、透明な籠と か。そういうのがいつ出てきて、またいつ議論するのかというのが ちょっと時期的な部分も合わせて私は疑問に思ったので。</p>
木下委員長	<p>いかがですか。それぞれの対応策について、少し具体性に欠ける という所ですね。「検討します」という事ですが、基本設計の今や っておくべき事、それから実設計の段階でやるべき事、その仕訳も ここではされていなくて、いつ回答が得られるのか、その検討段階 の物をここに出していただけるのかどうかですね。その辺の対応に ついてはどのようにお考えかという。</p>

日建設計（小谷）	<p>そうですね、わかりました。内容については基本設計段階で整理するものと、実施設計で整理するものがございますので、まず仕訳をしまして、どのタイミングでこの内容について御説明できるかという事をまとめたものをまずお出ししたいと思います。</p>
木下委員長	<p>私の印象としても、正直な印象、基本設計はとても大事なんですよね。それで今、この時点で全体の配置とかそういうレベルにとどまっていて、具体的な検討というのがどうも見えてこない。本当はその辺をつめた辺りで骨格というのは決めないといけない。これでいくと、まず骨格をとりあえず決めてしまう、後で実施設計で詰めようと思っても、もう身動きできませんという事態になりかねない。その辺がちょっと、私の印象としても見えてないと思って、本当に大丈夫かというのが正直なところ不安だというところがあります。</p>
木下委員長	<p>他はいかがでしょうか。</p>
青木副市長	<p>すみません、先程の子どもの転落防止柵ですが、建築基準法で転落防止柵の高さとか決まっているのではないのですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>はい、基本的には1.1mと決まっております。</p>
青木副市長	<p>そういうような数字を明示しておいた方が。</p>
日建設計（小谷）	<p>ただ1.1mだと、相沢委員がおっしゃったように、観戦の時に目線の邪魔になったりという事があるので、その下においてもその透明なガラスにするのか、ポリカーボネート板にするのか。後、細かい格子で視線をさえぎらないようなもので作るのかという事を、少し、コスト面を含めて使い勝手を検討したいと思っております。</p>
青木副市長	<p>あと、シャワーの数なのですが、基本設計で数が決まっているのなら、数字をいくつからいくつに変えたというような確認をしておいた方が。</p>
日建設計（小谷）	<p>今日この後、その部分の詳細な図面を見ていただいて、見解をいただいたうえで、その図面にしたいと。</p>

青木副市長	もう1つ。柔道ですが、質問が「10面確保できるように」という事なのですが、これは「1つの施設で10面」という意味で希望が来ているのではないのでしょうか。
日建設計（小谷）	その辺りの真意が良く分からなかったのですが。
野呂部長	これは「1つの試合として、その会場で10面確保ができれば大きな大会が成立する」という事ですので、「1つのアリーナに10面全部入らなければいけない」という希望ではないと思います。
日建設計（小谷）	「大きな大会を開催する時に、10試合同時にできればいいという事」で御意見だと思います。
青木副市長	では、この回答でオーケーという事ですね。
木下委員長	他にいかがでしょうか。
事務局（川合）	委員長、バドミントンの方の御意見をお聞きしたらどうでしょうか。
小椋委員	はい。一番最初の白いシャトルの壁は、真っ白はやめてもらいたいです。黄色とか木とかならいいのですが、かと言って黒とかもおかしな感じになるので、そこまではしなくても大丈夫なのですが、できれば木。木の体育館は結構多いので、そこの体育館だったらそこまで気にならないし。後は観客席の色も気をつけていただきたいと思います。それはまた白とか黄色とか反射してくるような色ではなく、シャトルにかぶる感じになるので、それを検討していただきたいと思います。あと、照明は、一番嫌なのが、場所的にコートがある一番後ろの辺りにライトがあるというのが一番嫌で、例えばコートのネットが張ってある所にライトがあるのでしたら、そんなに気にならないです。そういう事を多分言っていると思うので、ライトが真ん中という事も体育館のど真ん中にある事がという事ではなく、配置だけ考えていただければいいと思います。風とかはもちろん考えていただきたいと思いますが、コートが3面といえどもう十分だと思います。コートのラインの色というのは、多分すごく間違

	<p>えやすいので、たくさんラインがあると。対応も他の競技と合わせてと書いてあるので、できれば重複しないようにやっていただきたいと思います。</p>
日建設計（小谷）	<p>壁の色は少し濃いめのものが。</p>
小椋委員	<p>できれば濃い方がいいです。</p>
日建設計（小谷）	<p>分かりました。</p>
木下委員長	<p>他にいかがでしょうか。これについて御意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは次の議題に移らせていただきたいと思います。</p> <p>では、「基本設計進捗状況について」。資料3、お願いいたします。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうしましたら、次の資料3の図面の方の説明に移らせていただきたいと思います。</p> <p>「基本設計の進捗状況」という事で、今現在の配置計画と、平面計画を中心に、説明させていただきます。</p> <p>お手元の資料で前回から設置しているものから変わっているものについては、赤い雲マークでマーキングいたしまして、それがどこか分かるように書かさせていただきますが、その赤色を中心に説明させていただきます。</p> <p>まず、配置計画でございます。配置計画につきましては、この駐車場の部分の形状でございます。元々この駐車場部分についてはこちらの車路をもう少し施設側に寄ったところで考えておまして、車の出入りを2箇所という事でとっていたのですが、これは少し車路の計画を見直しまして、こちら側からの車の進入も考えまして、こちらに車路の進入路もございますので、これに合わせた位置に持ってくる。それから既設の水路であったりとか、ガス管であったりとか、埋設管がございます。その管の移設をできるだけしなくても済むような検討をという事で、車路の配置計画を考えております。そうすることによりまして、車の出入り口をそれぞれ西面であったりとか、それから東面側、それぞれの方面から出入りができるような形で、先程御指摘がございましたように、駐車場の入り口が二箇所だけでは渋滞するという事に対して、出入り口を増やすという事</p>

で対応を考えさせていただきました。

それから、一階平面図に出てきますが、今現在検討中ではございますが、既設のメッセ部分と、アリーナ、今回のスポーツ施設部分の接続部分の形状について、若干の見直しを検討中でございます。

これは実は既設のメッセウイングの構造計画について検討しましたところ、既設建物、これに増築をするという形に今回なりますので、増築する場合は既設の建物の耐震性能が現行法規に合っていない場合は、現行法規に合わせて、耐震改修をしないとイケないという事でありまして、メッセウイングの構造計算を再度やり直してきたのですが、やはり耐震改修が必要だという結論になりました。それによりまして、耐震改修をせずにつないでいくのか、それとも耐震改修をせずにそれぞれ別の建物として、屋根だけかけるような形になるのかという辺りを今現在検討中でございます。これまでは、別に分けた場合どうなるかという事で、次の平面図を今回はご提出させていただきますいております。

1階の平面図でございます。1階の平面図につきましては、今私が言いました、この部分になります。メッセウイングから新しい屋内総合スポーツ施設に接続する部分の形状でございますが、当初、メッセウイングと新しい体育館は1m床に段差をつけますという話をさせていただいたのですが、これは近くの安濃川が氾濫した時に、沈没しないようにという事で、1mの床高さを作っていたのですが、詳細検討していきますと、50cmくらいの床を上げるという事でも大丈夫ではないかという事で、よりメッセウイングと体育館の接続を容易するように、段差1mを、50cmに変えました。50cmの高さに変える事によって、元々体育館側で階段とスロープを設けていたものを少しメッセウイング側のつなぎの部分によって階段とスロープという形で、段差を屋外に変更する形にしております。

それから前回までの計画は、メッセウイングとアスリートモールを屋内でずばっと接続していたのが、先程申し上げましたように、ここまでがメッセウイングの建物で、こちらから新しい体育館というように、この部分が一部屋外になっています。屋根がかかっている外になりますが、いったん外の部分を通ってつないでいくと、これについてはメッセウイング側の耐震改修が必要なくなるという事がございますので、それについては今現在方針をどうするかという事をケーススタディをしている最中でございます。これは屋外にして、メッセウイング側を耐震改修しないとした場合のプランでござ

います。

それから、アスリートモールがございまして、もう 1 点変わった事は、こちらがプールとトレーニングルームの更衣室ゾーンでございまして。前回までの計画は、プール用と、それからトレーニングルーム・フィットネススタジオの更衣室をひとつの部屋にしておりました。ひとつの更衣室の中で、プールに行く人はプール側に出ていただく、トレーニングルーム側に行く人はトレーニングルーム側に出ていただくという事で検討していたのですが、いろいろ使い勝手を考えていった時に、やはり分けた方がいいのではないかという意見が出てまいりまして、今現在これは分ける方向で考えております。

ここに受付カウンターがありまして、ここで受け付けて、プールへ行く人はこちら側から入って行って、それぞれ男女という事で更衣室から出る。プールの中にロッカールームとシャワールームがあるという形になっております。同じく、女性側も入ってきて、女性用のロッカールームとシャワールーム、一部洗面台等があります。ハンディキャップの方のシャワー・トイレも個別に設けるようにしたいと思っております。

それからこちらはトレーニングルーム側の更衣室と、シャワー・トイレ。それぞれ女性・男性、完全に 2 つに分かれております。トレーニングルーム側はこういうような構成にいたしました。先程シャワーの数について御指摘がございまして、実はこの分ける前の段階で、シャワーの数については、他の類似施設と比較して、少なからぬように設けていたのですが、分けた時に若干シャワーの数が減っている部分でございまして、今現在プール用のシャワーについては、前回後藤先生の方からも御意見がございましたが、別の一つ一つ仕切っていないでもいいのではないかという話もありましたので、ちょっとその辺りの使い勝手をもう一度見直しまして、シャワー数を不足しない方向で検討したいというふうに考えております。

それからもう 1 つは、このメインアリーナの西側の器具庫があります。これにつきましては、器具庫の中に入る部品、体育器具類を全部リストアップしまして、それぞれの器具庫にどういうふうに収めていくかという検討をいたしました。それぞれ器具庫に収まるように検討して、器具庫の中に入る収まりを考えた結果、もともとこの器具庫はこういう形でありまして、この一角に機械室が入っていたのです。この上のところにあるものなのですが、この機械室が入

っていたのですが、何とか機械室があってもぎりぎり収まるかというようなスペースだったのですが、あまりにもぎりぎりという事なので、少しゆとりをもって器具を置きたい。それからレイアウト上は整然と並べれば入るのですが、使い勝手上そういうようには整然と並べられない事もあるという事で、少し器具庫を大きくしました。ここにあった機械室をその分外に出しまして、一部この部分面積が増えているのですが、器具室とみなして、機械室を外に出して、器具庫を増やす事を考えております。

選手控室のゾーンでございます。この部分についてはこの中にレイアウトを入れていきました。拡大図が次の次のページでございます。大きく選手控室と、それから多目的室で、それぞれ西側と東側に選手控室があります。それから間に2つ、多目的室という形にしております。選手控室の方は、この向こう側は選手出入り口があるのですが、ここに下足置き場があって、脱いでいただいて、選手控室に入る。選手控室の中はミーティングができるスペースとそれからロッカールーム。ロッカールームに併設して、それぞれシャワーがある。トイレについては外側の廊下から出入りするようになっています。これは1つのチームの中で、以前小椋委員の方からも要望がございましたけれども、男女、コーチが男性の場合であったりすとかという事もございましたので、トイレの出入りの仕方を少し変えてあります。これと同じ考え方のもので反対側にあります。こういう形で2つのチームが入る。それから多目的室という事で、会議室的な使い方ができるスペースを2つ設けております。この多目的室につきましては可動間仕切りで、間を仕切れるようにしておりますので、閉めてそれぞれに分けて使う事も可能です。いろいろな使い方ができるような工夫で考えています。この内容で選手控室の広さの感じであったりとか、シャワーの数の感じであったりとか、見ていただければと思います。

次に、2階でございます。2階の方はほとんど変わっていないのですが、一部変わりましたのは、アスリートモールに面したエレベータというのが、実はこの部分を長くした部分と、それからこちら側にもう一台あったのですが、全体の使い勝手を考えて、エレベータは1台でいいのではないかという事で、エレベータを1台に絞らせていただきました。それからもう1つ、弓道場の計画でございます。弓道場につきましては、先程アンケートの資料にもつけておりましたが、弓道協会の方からかなり細かく詳しい御要望がなされてお

<p>木下委員長</p>	<p>ますので、それに基づいて、平面計画の修正をしてみました。元々こういった更衣室とか、器具庫とか、こういうものが入口に近い側に並んでいたのですが、できるだけ客席としてとりたい、それから立見席をとりたい、場合によっては、この外部、屋根と書いてありますが、屋根の部分も通路として使えるようにしたいという事で、屋根からも歩けるようにこちら側をできるだけオープンな形にして、更衣室とか、機械室・器具庫関係を東側のゾーンに集めたという事でございます。それから、師範室の出入りの仕方、審判室との関係であったりとか、選手控室の関係、その中にも弓道協会の方々のご指導に基づきまして、修正をかけているところでございます。</p> <p>先程のプールとトレーニングルームのところの詳細になります。プール側がここにあって。使い勝手、プールを利用される方と、トレーニングルームを利用される方と、料金体系が違うのではないかとこの想定の上に、動線を分けたというのが大きな特徴でございます。前回のように、同じ所から入っていくと、トレーニングルームに行くのか、プールに行くのか判断がしにくい事がありまして。ちょっとここは先程言いましたようにここでいろいろ履き替えて更衣室に入って、ロッカールームがある。これはプールのシャワーの中にさらに服を脱ぐ所があって、シャワーに行くという動線にしていますが、こういう所はいらないのではないかと。今はもう少しシャワー室を増やすふうで考えさせていただいております。トレーニングルームの方は一方でこちらから入って、着替えて、ロッカーがあって、シャワーが2つという事になっていますが、この辺りはいろいろ使い方を聞いてみますと、トレーニングルームの中はあまりシャワーを浴びてというよりも、その場ではなくて、トレーニングして、その後帰るという使い方もあるという事でございましたので、適正な量については、シャワールームの量についてももう少しその辺工夫して決めていきたいと思います。この辺りの詳細について御報告いたします。</p> <p>平面設計については以上です。</p> <p>はい、ありがとうございました。基本設計のプランについて、主に変更箇所について御説明いただきましたけれども、それに限らず、他に何か疑問点がありましたら、合わせて何か御意見御質問をお願いしたいと思います。</p>
--------------	---

小椋委員	この選手控室のシャワー室ですが、多目的室には無いですね。
日建設計（小谷）	多目的室には無いです。
小椋委員	<p>バドミントンで言わせていただきますと、2つのチームがあって、それが男子と女子と、チーム毎に8チームぐらいあるのです。こういうように選手控室というように立派な形で設けていただくのはありがたいのですが、そうしたらシャワーを使うところと使わないところがあって。勝手な想像ですが、それでしたら、控室的な感じで、多目的室みたいな感じで、別に何も置いていなくて、シャワールーム的な感じで作っていただいた方が、選手としては、多分ここでシャワーを浴びれない人は一般の方の方でシャワーをあびると思うのです。それを考えたら、選手用のシャワールームみたいな感じがあった方がいいです。</p>
日建設計（小谷）	<p>入口が選手控室とは同じではなくて、廊下から他の部屋の人も入れるようにするという事ですか。</p>
小椋委員	<p>多分この控室の中に、他のチームの団体の中に入りにくいという事はあると思います。</p>
日建設計（小谷）	<p>シャワー室みたいなものがまとまってあって、トイレ室みたいなものがあって、控室がそれぞれあった方が。完全にロッカールーム専属で付随しているよりも使いやすいという事ですか。</p>
小椋委員	<p>本当を言えば、こうやって作っていただくのはありがたいです。選手としたらありがたいですが、たくさんチームが来るという事を考えるとそれだったら少ないのではないかなという考えがあって、誰でも利用できる選手専用のシャワールームの方がいいと思います。</p>
日建設計（小谷）	<p>理想的にはこのユニットがたくさんあればいいという。</p>
小椋委員	<p>それは使いやすいですが、この空間でそんなにたくさん使うのは。</p>

日建設計（小谷）	ええ、そうなんです。それではどういうふうに面積配分をしていくのがいいかという御意見をいただければと思いますが。
小椋委員	選手同志と一緒に更衣室になってとかシャワールームになってという事は、全然多分嫌だなという気持ちは無いのですが、チームとして控室があって、その中にシャワー借りに来ましたと入っていく方がやはり行きにくい気持ちです。
青木副市長	ロッカー室も要らないですか。
小椋委員	別に選手だけだったらいいですけど、一般の方と一緒にとなると、「シャワー浴びないで帰ろうかな」というようになるので。選手だけでしたら全然もう。そういう体育館はたくさんありますし。
日建設計（小谷）	競技によっても多分使い方が変わると思います。
小椋委員	そうですね。
日建設計（小谷）	団体競技の場合はチームでまとまって使いたいという考えが。
相沢委員	だから、小椋さんが言っているのは、バドミントンのチーム戦みたいなもの、8 チームくらい来てやる時にという事ですよ。この作りだと、2 チームの対戦でというような感覚でしょ。バレーボールチームだったら、AチームとBチームが来て、Aチームがこっちを使って、Bチームがこっちを使うという感覚ではないですか。
日建設計（小谷）	バレーボール、Vリーグの時なんか4 チーム来られるんですよ。入れ替わって使っていただくというイメージだったんですよ。
相沢委員	いや、だから。
日建設計（小谷）	それが、理想的にはもちろん全部同じ形になっているのいいと思うのですが。
相沢委員	いや、だから、選手控室というのと更衣室をまた別物にしたらいいのではないですかという事です。

日建設計（小谷）	これを完全に分けてしまっ、これはすべてのチームの方が共有で使える。選手の控室という形で使えるといいという。
相沢委員	国立競技場も、ドレッシングルーム入って、ロッカーが分けられていて、そこで完結するのです。シャワーは外で同じ所にあるのですが、外に行くのです。という感覚ではないでしょうか。そのシャワーというのはもっといっぱいある。
日建設計（小谷）	それこそ簡単な仕切りだけで、全部1つずつシャワーがある。
相沢委員	何ならその中にロッカーとかあって、そこで着替えてでもいいんですよという。選手控室は控室だけという感覚なのではないでしょうか。だから今おっしゃっているすべてにあれば一番ベストです。でもそれはコスト的に合わないのであれば、今おっしゃっていたような、多目的室は本当にそんな意味があるのかという事です。そこを選手控室みたいな形にして。
日建設計（小谷）	今現在、こうスペースがあって、こう大きく4つに分かれていて、この中が更に細分化されていて、控室が1つあって、ロッカールームがここにこうある。ここは完全にミーティングスペースがこうある。これを、ここで仕切ってしまうと、ここは選手ゾーンになっていますから、選手ゾーンから共有で使えるシャワールーム・ロッカールームがある。それ以外にこういう控室が大小、これも2つに割れる事を考える。こういうふうに割って、ここは専用の選手用の共用シャワーとか。その方が使い勝手としてはいいですかね。
小椋委員	そうですね。控室は、例えば本当にもう8チームくらい来た時に、そのうち1チームだけが使えるという、他のチームがなんでだという事になります。そういう事も考えたら、一応、バドミントンの団体もあるので、そういう事も考えるとできれば共有スペースという形で使える方がありがたいです。
相沢委員	でも、まあ、おっしゃるように競技上で、人数も違って来るから、その1個の控室が2つになっていると、間仕切りがあつと、そういうのはいかがですか。

日建設計（小谷）	<p>ちょっとじゃあ他の団体の方にも意見をお伺いしながら今後方向をもう少し。ここが実は一番悩んでいる所なのです。どういう設えにしておくのが一番いい。そういうようないろいろ御意見を頂戴したいです。</p>
相沢委員	<p>私も1個だけ疑問に思ったのですが、フィットネスとかウェイトトレーニング、図面を見るとありますが、これは基本的には靴はなんなのですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>上履きです。</p>
相沢委員	<p>ここは、例えばこのロッカーの中にこの土足。</p>
日建設計（小谷）	<p>ここで上履きに履き替えていただいて、ここに下足置き場があって、持っていただいて裸足でロッカーに入っていただく。</p>
相沢委員	<p>下足入れって何ですか。要りますか。</p>
日建設計（小谷）	<p>下足入れというのは、一応今用意しているのですね。いろんな、一般市民の体育館を見させていただくと、下足入れに下足を入れているのですが、綿密な管理をしようと思うと、本当はそれを持っていただいて、自分のロッカーの方に入れていただくのがいいと思うのですが。</p>
相沢委員	<p>汚れたりしないですか。ロッカールームとか。寝かせて、ロッカーの中に入れさせるという事ですか、土足を。</p>
日建設計（小谷）	<p>いや、特にそういうふうではないと思います。割と管理がそういうふうに分断な状態でされているというか。</p>
相沢委員	<p>東京体育館とかって、下足入れないな、と思って。イメージ的にはそんなにかい体育館ですよ、これ。</p>
木下委員長	<p>あの、エレベータの位置なのですが、これ、エントランスから一番遠いところに配置されてますよね。「元々は2つあって、1つは</p>

	<p>無くしました、1 つ残りました、それが一番奥です。」という事だ と思うのですが、2 つを 1 つにしたら適切な位置があるのではない かと思うのですが。エントランスから一番奥というのは、ちょっと 不親切かなと思います。例えば、身障者の方は、駐車場から来て、 エントランスを回って、さらにメインアリーナの一番奥の身障者の 方が行くという事は、かなり大回りしますよね。収まりはそこが いいと思うのですが、やはり遠いのではないかなと。動線的には。こ れはちょっと問題があるかなと思うのですが。設計者のお考えがあ れば、お聞かせいただきたい。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>1 台にする時に、まあ一番奥ではありますが、一番アスリートモ ールから目につく場所で、分かり易い場所であるという事でここに させていただいたのと、ここが一番広くて使いやすいところかと思 いまして。確かに動線的にはちょっと距離があるのですが。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>アスリートモールも、人がたくさん来た場合に、アスリートモ ールのその奥が見えるかと言うと、見えないのですよね。やはり誘導 する時には、もっと入口に近いところが自然かなと。ですから、位 置的には、難しいかもしれないですが、それか、どちらかですね。 授乳室とかキッズルームが見える位置。上にブリッジのある部分。 もう少しこちらに寄せた方がいいのではないかと思います。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>その辺りに上がってくれば、メインもサブもどちらにも通じると。 ことだろうと思います。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>理想はもっとエントランスに近い方がいいですが。基本的には管 理事務所からも比較的目が行くところで、何かあった時のためにち ゃんと横に置いといた方がいいと思います。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>わかりました。変更を考えてみます。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>お願いします。</p>
<p>小椋委員</p>	<p>自動販売機コーナーと、ここ書いてありますが、ここにしかない という事なのですか。</p>

日建設計（小谷）	はい、今のところ1階のところですよ。
小椋委員	それもまた、アスリートしか行けないゾーンに。
日建設計（小谷）	ああ、選手ゾーンに。
小椋委員	はい。例えば、これはどのくらいの広さなのか分からないですが、体育館入口の、どれくらいの幅があるのか分からないのですが、その壁に作るくらいのは。選手の控室のある体育館、期待度をあげますと、そういう感じで置いてあります。本当に便利な感じで、複数の体育館とくっついているし、トイレだったり、シャワールームが1つずつあったりという感じなので、自動販売機もあった方がありがたいと思います。
日建設計（小谷）	使われるのですよね。
小椋委員	使いますね。置くのだとしたら、そこらへんに。
日建設計（小谷）	自販機コーナーは作るスペースは十分あると思いますので。競技者用のですね。
青木副市長	すみません、食事とかそこら辺はどういうようなお考えですか。この付近は外へ出るとほとんど買う所が無いですね。
日建設計（小谷）	それは実は懸案事項になっておりまして、一応メッセウイングには元々喫茶コーナーがあって、それが閉鎖されて今は自販機コーナーになっている状況です。それに対して新たに接続部のところに喫茶室、レストランとか、小さなレストランですけれども、作ろうとしておりますが、やはりなかなかこう平日の利用の売上は結構厳しいです。イベント時にアスリートモールに、仮設的に設置するという対応を考えておりますが。その辺りはアスリートモールの使い方というのも説明させていただきたいと思います。常設でというご要望は市民の方からもいくつかあったのですが、実際運営的には厳しいかなと思います。
青木副市長	一応対応は考えてもらっているのですね。

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>はい。そういうようなスペースはとっています。</p>
<p>野呂部長</p>	<p>すみません、よくイベントなんかをすると車で来て、クレープ売ったりとか、ホットドック売ったりとか、弁当を売ったりとか、結構そういう車販売みたいなことがあると思います。そういう対応をできるように屋外展示場というのを作りまして、大きさは小さいのですが、ここに車を置いたり、ワゴンを置いたり、テントを張ったりして、そこで販売ができるようにしたり。外ですね。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>先程の各団体の質疑のところ、アリーナへの出入り口とか観客席への出入り口とかを検討しますと。それで防災計画ですね、避難計画、詳細に詰めますというお話ですけども、それはどのようなふうに。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>ええ、それは今防災計画担当とやり始めておりますので、</p>
<p>木下委員長</p>	<p>結構、まわりに影響しますよね。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>主には階段幅と出入り口幅になると思うのですが。ある程度は想定して、階段幅なんかも作ってはいるんですが、出入り口の幅についてはもう少し、非常時にどの程度必要か。それからイベント時でも入る時、また出るときを想定して使い方を考えています。その辺りについては少し考えていきたい。それから2階の方も、ここに集まってきて出ていくという形になるのですが、これは事務局の判断もあるので話をしていない話なのですが、階段の向きを全部こちら側にこう下がってくる向きにしているのですが、果たしてその向きがいいのかどうか。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>私もその辺はちょっと。要はそこに皆災害時、集中する訳ですよ。で、エントランスの所、左側のあのところに、あそこしかないんで、出入り口が。そういう時にかなり混乱するのではないかと。その辺もちゃんとシュミレーションして、大丈夫だという事を検証しないと、それって結構全体に影響する話ですから、早くやられた方がいいかなと思います。</p>

日建設計（小谷）	<p>場合によってはこの出入り口を分けてまして、階段もそれぞれこっちからアプローチするという。</p>
木下委員長	<p>それで階段が降りた先も 1 箇所しかないという事で、前から言っていますが、本当にエントランスは 1 つでいいのかというのが、あまりにも管理を優先しすぎて、避難とかそういう時の行動が果たして大丈夫なのかというのがちょっと心配ではあります。</p> <p>チェックしてください。</p>
日建設計（小谷）	<p>はい。</p>
青木副市長	<p>先生、逆に何か所くらいが望ましいのですか？</p>
木下委員長	<p>何か所というかですね、これは収容人数があって、そこからさらに避難するまでの時間、これを決めて、そして出入り口の幅とか、箇所数を割り出される事ですから。というところで、とにかく計算をしないといけない。</p>
日建設計（小谷）	<p>災害時については、混乱なく非難できるのはこちらとこちらと思いますが、2 階の方は屋外階段もありますので。もちろん災害でない時のイベントもある。それについてはこちら側に集中してくる。そういった事を少し触った方がいいかなと。</p>
野呂部長	<p>すみません、考え方の根本に関わる話ですので、委員方の確認をお願いしたいのですが、メッセと今回のスポーツ施設の繋ぎ方については、連携した活用するという事で、そういうコンセプトで以前出されてきた絵は、アスリートモールがメッセメッセの中へ繋がったような絵になっていたのですが、先程話がありましたように、メッセの建物自体は、これは耐震大丈夫かと言われれば問題無いのですが、構造基準というのが、かなり頻繁に見直されていて、それに対しては、その現状の基準まで既存の建物を見直ささいというので、それが今構造計算したらアウトという事で、もしこれを一体の建物として繋げようと思うと、耐震補強とか、消防設備補強とかそういうので 3 億円くらいの費用がかかってくるという事なのです。それを考えると、そこまでお金をかけて、くっつけて一体の建物にする必要があるかどうかという事で、今回出させてもらった図</p>

	<p>面は、あくまでもその別の建物という扱いで、当然そのつながりの所の屋根はあって、雨が当たらない形になっているのですが、見てもらいますと、この真ん中のここですね、ここの囲ったところは、いったんメッセウイングから来ると、ドアがあって、外へ出て、それからドアを通過して、スポーツ施設に入ると。こういう形になります。</p>
日建設計（小谷）	<p>メッセウイングをいったんを抜けて、また中に入る。</p>
野呂部長	<p>これが今まで計画からずっときたコンセプトだと、若干変わる形にはなるのですが、3億円もつぎこんでするよりは、いったん外に出るという形があってもやむを得ないのかなという事で、ちょっと、皆さんの御意見をいただければと思うのですが。今ちょっとこの方向で検討させていただいています。</p>
木下委員長	<p>という事ですが、いかがでしょうか。</p>
青木副市長	<p>すみません、やはり収容人数の割に出口が狭いと思います。なぜかという、本来ならば通路に仕切りを作って、そこにドアを作るという、それも3か所いるんですよね。そうすると、通過する人数は限られてくるので、イベントなんかやったら大量の人間が通って来ますので、混乱が起きるとは。通常時でもおきるのではとは思いますが。</p>
野呂部長	<p>そうすると通路部分のドアを広くという。</p>
日建設計（小谷）	<p>もともとはずっとつながりましたので、つながっていてこちら側の出入り口を入れたものですから、うまく誘導すれば施設内までいけました。</p>
青木副市長	<p>通路の幅は何メートルくらいですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>2つあるとしたら、3.6mくらいです。</p>
青木副市長	<p>自動ドアですよ。</p>

日建設計（小谷）	ただ、ドアの形式を考え、少し工夫して、そういう時だけは全開して、開けっ放しで開けるような形もできますので。そういう形で開くとすると。
青木副市長	空気が入って来ると。
日建設計（小谷）	そうですね。はける時だけはそういうような使い方もよいかと。
青木副市長	今、メインの入口はメッセウイング側ですか。
日建設計（小谷）	いや、体育館としてはメインの入口はここから入って抜けるという。メッセ側はこちら側ですね。
青木副市長	受付とかはどういうふうに。
日建設計（小谷）	ここから入ってきていただいて。日常的に使われる方は券売機があってここでチケットを買ってそれぞれロッカールームに行く形になりますが、イベントの時はこちら側から入って、ここにもぎりを付ける事で考えていますので、ここでチケットをもち、観客の方はここから行くと。そういう使い方になります。この間口をとっておいて、ここで入場の時はたくさんの人数でさばけるといふ。
相沢委員	外観的にどうなのでしょう。イメージつかないですね、これだと。繋がっててという。そんな絵があって、いやこんなですよというのがあったら。やはり一番の顔になるのでは。
日建設計（小谷）	これ小さくて分かりにくいですね。 これ、元々、これアスリートモールの屋根なのですが、これがここまで繋がっていたのが、今ここまで切れているのですよね。この屋根がここに入り込んで、屋根はかかっていますが、建物としては外部。こういう形になります。
木下委員長	やっぱりそういうところをもう少し拡大して、立体的に表現してもらわないと、なかなか判断しづらいと思います。こういう小さなプランのみでは。実際連続感というのは天井とか床とか壁の仕上げを両方同じような仕上げですというような手法でいるそうです。

	<p>が、こういう形で繋げるという手法という事なんですよ。どういう形で繋げることが可能なのかという事を、もう少しスタディしていただくと、こちらも判断しやすい。プランだけで見てでどうですかと言われてもやはりちょっと無理があるので。なかなか今出している資料が、もう少し立体的に模型もそういう小さい模型ではなくて、もう少し大きめなもので案を出していただくとか、そういう検討を是非やっていただきたいと思います。でないと、本当に基本設計大丈夫かなと、このままでいくと本当に心配なので。やはり今が大事ですから、そういうところをちゃんとスタディしていただきたいと思います。</p>
日建設計（小谷）	<p>ここは実は基本設計までの積み残し事項としていたのですが、ここ数か月の間に完全に作っていきたくと思っています。</p>
木下委員長	<p>是非集中してやっていただきたいと思います。 いかがでしょうか。</p>
後藤委員	<p>あの、プールと幼児用プールとジャグジーと3つ、設定してあるのですが、これも大体この辺で決まりという。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。位置関係と大きさは大体このくらい。</p>
後藤委員	<p>という感じですか。実はうちの水泳の先生が「ふれあいプール玉穂」という所に行ってきた、これはいいぞ、家族で一日遊べるという事を言っていて、是非これを言ってきた欲しいという。</p>
木下委員長	<p>紹介してください。</p>
後藤委員	<p>何が違うかという、素潜り、潜る上下の運動がそこです。普通プールという水深が限られて、危ないというのがあるのですが、水族館で煙突みたいな大きな柱みたいなのがあって、そこで周りが透明の中で泳ぐという。そういうレイアウトで、安全にいろんな遊び方ができる。ミニスライダーみたいなものもある。そういうものも遊びで置いてもらおうと、子どもの水に親しむ感覚だとか、家族連れできて遊べるのかなと思います。というような利用者の意見です。ちょっと思ったものですから。全部は無理でも、ちょ</p>

	<p>っところこういうアイデアを入れていただけるとありがたいなと思います。</p>
野呂部長	<p>ちょっとした滑り台をつけたらどうかという。</p>
木下委員長	<p>それが目玉になると。</p>
後藤委員	<p>集客能力は上がると思います。</p>
事務局（川合）	<p>どこにあるのですか。公営ですか。</p>
後藤委員	<p>どこだろう。利用規定とかの後ろに。えーと、多分そうだと思います。</p>
事務局（川合）	<p>パンフレットか何かあったら。</p>
後藤委員	<p>けっこういろいろうさい事書いてあるので。 ①の深水浴、筒状の、階段上がって上から飛び込んで、プールの底は普通のフロアの底のような感じです。水族館で魚が泳ぐような感じです。人気で。</p>
野呂部長	<p>危なくはないですか。</p>
後藤委員	<p>一応制限は設けているそうなのですが、何歳以上とか。</p>
野呂部長	<p>今のイメージは、下のプールですね。</p>
後藤委員	<p>はい。ふれあいゾーンです。</p>
木下委員長	<p>プールに遊具があったらという。他いかがでしょうか。</p>
青木副市長	<p>搬入はトレーラーと考えておられますか。 トレーラーかトラックか。トレーラーが入れるスペースありますか。</p>
日建設計（小谷）	<p>トレーラーほどの大きさのものまでは考えないのですが、10トン</p>

	<p>くらいまでのトラックであれば。ここに搬入口がありまして、ここに割と広いスペースがありますので、ここまで入っていただいて、ここでお尻をつけてここから入れる。</p>
青木副市長	<p>トレーラーだとスペースが足りないような気がしますが。</p>
日建設計（小谷）	<p>トレーラーだとちょっと厳しいです。10 トントラックくらいです。</p>
青木副市長	<p>どうですか、イベントで。</p>
野呂部長	<p>まず、器具とかの搬入ができるかという。</p>
青木副市長	<p>トレーラーを付けるとそれができますね。</p>
野呂部長	<p>そうですね。</p>
青木副市長	<p>あと、サブアリーナの搬入は。これは横付けしかできないのですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>それはここに横付けして入れられて。ここからも入れられるようになっていますので、お尻をつけていただいて、という形になっています。</p>
青木副市長	<p>屋根付きで入れられるのはどこの部分ですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>トラックのつける所くらいまでは庇はつけるつもりです。それから、横開きのタイプのものも対応ができるのではないかと思います。</p>
青木副市長	<p>イベント時にはかなり台数もいりますよね。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね、台数もすごくいりますので、この辺りは少し余裕のあるスペースを確保していきたいと思います。</p>
木下委員長	<p>他いかがでしょうか。</p>
相沢委員	<p>あと、例えば何かの大会を誘致するとか、この中でエンターテイ</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>メントを誘致するとか、そういうのを考えてやっておられるのですか。例えばこのぐらい規模のバドミントンの大会とか、バレーボールのワールドカップを誘致したいとか。そのためには今おっしゃっていたような持ち込みのバックヤードとかできないと無理だと思ひまして。ないのでしょうか。</p> <p>まだ今のところは具体的にこういう規模のこういう大会ということまでは想定していないのですが、物の搬入であったり、放送関係であったりとかは。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>例えば、これは運営する人が、私が運営する側に立ったらこんな事はなかった。コンサートやりたいけれど、機械とか搬入する時に、おっしゃっていた搬入スペースが駄目だからこういうのはできないよという事になったら、もうそれは無理になってしまいます。できなくなったら売上とか、運営する側にとっては非常にマイナスの部分が出てくるのではないですか。そういうのはあまり考えられてはいないのでしょうか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>それはどこまでのイベントをまず想定するかという事を打ち合わせで出させていただいています。要するに音楽系のコンサートまでやるのかどうか、それともスポーツイベントぐらいと展示ぐらいまでなのかによっていろいろな物の出し入れの部分であったりとか、それから照明、吊りものの機構であったり、変わってくると思います。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>それは分かるのですが、それを説明していただかないと分かりません。これからもう音楽イベントはしないんだとか、どういう感覚でやられているのか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>それはまだ決まっていません。逆にそれをどこまでやるのかというのをいろいろスタッフと打ち合わせをさせていただいています。当然それに対応するにもコストがかかる話ですし、通常の、特に音楽系の。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>今おっしゃる言い方だと、今のコスト的な感覚でいうと、それは無いという事ですか。</p>

日建設計（小谷）	当初は、体育館としての使い方という事で。
相沢委員	今のこれだけの規模だと、絶対あるではないですか。音楽系のイベントだとか、まだ決まっていないところが多いのですか。
日建設計（小谷）	そこら辺の使い方をまだ報告ができていないです。
木下委員長	そうすると、事務局側ですか。
野呂部長	計画段階では、「各種イベントやスポーツ大会等に対応可能な空調設備や観客席や音響設備」をやることでいますと、ちょっと漠然ですが書いています。できるだけ多目的に使えるというイメージであるのですが、1つはメッセウイングの展示機能が、こちらでもそういう展示ができるようにというのがあり、イベントも音響機器をそのまま備えてあってやるようなイベントではなしに、多分持ち込みですね。持ち込みでやるような音楽イベントも、年に数回あるかないかというぐらいの想定はしたいと考えています。
相沢委員	今おっしゃった話だと、やはり搬入だとかも考えないといけない話になるのではないですか。結局、サンアリーナでしたか、今三重にあるのは。サンアリーナぐらいでしょ、大きな音楽イベントができるのは。
野呂部長	そうですね。
相沢委員	ここができるようになるのであれば。あそこ1つだけではなくて、選択肢はあるという事ですよ。ましてインター近しいし。
野呂部長	サンアリーナは設備的に音響に配慮しており、設備面ではお金はかけています。ですが、やはりメインはスポーツになりますので、音響だけにそこまでお金をかけるというのはこれからちょっと検討しないといけないと思っています。
相沢委員	先生がおっしゃったプールもどこまでやるかというのが決まらなないと、せっかくなのを持ってきてもらっても、できるのかできないのかというのが決まってくると思いますよね。

野呂部長	多分、音楽イベントはやると思います。
木下委員長	いかがでしょうか。それではこの議題についてはこの辺で締めさせていただきます。次の議題に移らせていただきたいと思います。資料 4 です。 「基本設計概要版の作成について」御説明をお願いいたします。
日建設計（小谷）	<p>それではお手元に A3 の資料をご用意しておりますが、ちょうど基本設計の概要版という事で、今まで検討してきた内容を簡単に一般の方々にも見ていただいて説明できる資料としてご用意したものでございます。</p> <p>表紙をめくっていただいて、右端のところに、基本的な設計コンセプトをあげさせていただいたものが載っております。あとはアスリートモールのイメージであったりとか、それから外観のイメージを配置してあります。あとは先程と同じものでございます。</p> <p>めくっていただいて、裏表紙の方にそれぞれの平面図、事業スケジュール、こういう事でまとめさせていただきました。これについてはまだもう少し修正・調整を必要というふうで、打ち合わせをさせていただきますので、ちょっと中間報告をさせていただきます。</p>
木下委員長	そもそもこの概要版の位置づけというか、何のためにこういうものを作ろうとされている目的とかですね、概要版の位置づけを説明いただいた方がいいかなと思うのですが。
野呂部長	概要版につきましては、基本設計の基本的な部分を含めまして、まずは市民に、ホームページで市民に見てもらおうとか、分かり易く設計概要を見てもらおうというのが 1 つ。それともう 1 つは、これから大会ですとか、イベントの誘致というのを考えますと、オープニングの平成 28 年だと今から誘致に走らなければならないという事ですので、施設の内容を知っていただいて、この施設でどうですかという話が、そのまず第一の資料として使いたい。そういうふうに思っております。
木下委員長	まとめて、A3 裏表くらいのを。

野呂部長	そうですね、
木下委員長	広報用に使うというニュアンスですね。
日建設計（小谷）	設計のまとめの扱いになりますので、少しその誘致とか、営業用ツールとして使えるぐらいには少し内容が必要になるかと。
木下委員長	これに対してどういうところをアピールするかという。今、競技場の内部がわかるとか。
日建設計（小谷）	そうですね。
木下委員長	<p>今ここにあるプロポーザルの話で構成されているような感じになっているけれど、そこからさらに進んで。基本設計だからもう少し具体性も踏まえた方がいいのではないかと思います。</p> <p>いかがでしょうか。これは中間報告という事でしたので、「こういうものを作る予定だ」というようなという形ですね。</p> <p>それでは次の議題に移りたいと思います。資料 5「アスリートモールの活用方法について」。説明をお願いいたします。</p>
日建設計（小谷）	<p>アスリートモールの利用という事で、A3の資料の最後につけさせていただきました。アスリートモールについては、今回の施設の中で、一番中心になる施設でありまして、具体的にはその使い方をどうするかという事は、前回・前々回の2回でもいろいろ御意見をいただいております。それについていろいろ検討をしているところでございますので、ご報告をさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、一般的に通常の市民利用している体育館、イベントの無い状態で利用している時の使い方というのを上段に分けたいと思います。この部分について、薄い緑色で塗ってある部分については、それぞれの施設に入っていく人が動く動線のルートになります。それ以外の濃い緑色の部分はちょっとした溜りができたり、集まってミーティングをしたりとかいうような使い方ができるようなスペースになっています。その中で、先程も少し簡単にご説明いたしましたが、エントランスから入ってきてすぐ脇のところに券売機があって、それが一方こういうところに情報コーナーということで、この</p>

	<p>券売機のイメージとそれから利用案内の情報であったりとか、できればできたらと思っております。それから一部展示スペースのようなイメージですね。そういうものもできたらいいというふうに思っております。こちらは日常的には使い勝手はいいと思います。それに対して、イベント・大きな大会がここで開かれて観客の方が来られるような使い方という事でございますが、入口は灰色のところから入って行って、入る前に溜りのスペースをとって、入ったところでずっと溜り、これは並ぶスペースになるかと思うのですが、ここで先程言いましたもぎりのスペース。逆にこの奥ところはイベント時に売店とかそういうものを設けられるようなスペースというように考えております。後、先程部長からもお話にありましたが、こういう屋外展示場とかいうようなスペースで、屋外に屋台が作れるようなスペースも考えています。臨時のイベントとして、プレイルームであったりとか、また複合的なイベント利用、ちょっとした展示とからめたショップを作るといような使い方もこのまとまったエリアでできると思います。日常的には、こういうちょっとした休憩スペース的なしつらえにする事も出来ると思います。</p> <p>これは運営の方といろいろ協議しながら詰めていかないとだと思います。施設側としては、あくまで、これは屋外のものですけれども、いわゆるショップを展開したりもできる、インフラ対応ですね、電源であったりとか、場合によっては情報系の物であったりとか。給排水みたいなものをどこまでやるかというのは、検討する事でございますが、そういった対応をうまくアスリートモールに仕込んで行って、できるだけいろいろな使い方に対応していただけるような形のアスリートモールにしたいと考えております。</p>
木下委員長	<p>はい、ありがとうございました。アスリートモールの利用というものを、アイデアというのですかね、御説明いただきました。いかがでしょうか。御意見御質問お願いいたします。</p>
後藤委員	<p>質問させてください。イメージ図なのですが、モール中央の休憩コーナーとか、仮設店舗のイメージだとかなり天井が高くなっていますが、クライミングウォールだとか、ここはもう普通の建物の感じの高さくらいの感じのイメージですが、大体どのくらいの、高さをイメージしたらよろしいのでしょうか。</p>

日建設計（小谷）	アスリートモールは、10mぐらい。大体このエリアが10mぐらいの高さになっています。
後藤委員	3階建てぐらい。
日建設計（小谷）	そうですね。それ以外のところは低くて、3mぐらいです。真ん中の辺りだと、4~5m。
後藤委員	この例えばクライミングウォールですと、3mぐらい。
日建設計（小谷）	設置する場所によりますが。
後藤委員	ちょっと高いと。
日建設計（小谷）	高いと、かなりそれなりの専用施設を備えないといけないので。なかなか仮設的にやるのは厳しいかもしれないですが。
野呂部長	クライミングウォールの話が出たのですが、写真は一宮の施設の写真が載っているのですが、非常に管理が大変というのがありまして、ちょっとこういうものをつけるのは厳しいかなというように思っているのです。あと、このアスリートモールの使い方として、少し具体的に入れていきたいと思うのは、1つは企業用のピーアールコーナー。これは例えばテニススクールのスクール生募集とか、いろいろ企業が広告を出すのに使うコーナーとか。それから特別展示コーナー。例えば吉田沙保里選手が金メダルを取ればレプリカを置いたりとか、カップを置いたりとか。そういうものを置くようなスペース。それからスポーツ団体が情報交換するスペース。いわばサークル、一緒にやりませんかとか、そういうサークルのコミュニケーションをとるようなスペース。あとショップ、これは土日とか、ある程度限定した話になるかもしれませんが、大会の時にイベントの時に弁当を販売したりとか、カウンターとか、ワゴン販売ができるワゴン販売のスペースとか、そういう事を考えていかないといけないと思います。それから大会をしたら、その成績を、どこが勝って、どこの団体が今何位とか、そういう情報を貼るボードも要るのかなと。そういうのをもう少し具体的に整理ができればと思います。

木下委員長	是非そういうコーナーがあるといいと思いますが、ここに本当にそれが入れられるかどうかというのが問題です。
日建設計（小谷）	情報コーナーと、展示スペースと仕切られていますが、ボリューム感がちょっとまだつかまえないところがありますので、あまり掲示板を多く煩雑になるというのもあって、
木下委員長	なるべくこう積極的に前向きにとらえていただきたいと思うのですが。
日建設計（小谷）	<p>展示コーナーなんかをとってもいいと思うのです。壁面をうまく使えるような。ディスプレイも設置できるかなと。</p> <p>あまり固定のものではなくて、デジタルサイネージもと思います。</p>
相沢委員	<p>これ結局やる事決めないと、単なるスペースだけの無駄使いという話にならないでしょうか。私、最初から思ったのですが、これが一番の売りだとおっしゃっていたと思うのですが。右上の写真、今で言うショッピングモールみたいなならいいと思うのですが、多分単なる何もない空間でしかない。今決めないと。そこが大事ではないでしょうか。アスリートモールって名前だけとなる、私はすごくそういうイメージがあります。だからこの空間を何にするかと、ここで論じて、ちゃんとどこかでそういうものを分離して、次に生かせるような感じで。今だと多分スペースがぼんと置いてある。今おっしゃっているような掲示板を置いたりとか。私も何か所か見に行かせていただいたのですが、確かに、例えば武道場に宿泊できるみたいな掲示はあるのですが、これは多分運営サイドとかに関していうと、インターネットとかフルに使って来るではないですか。そうするとほとんどそういったものになるではないですか。じゃあ本当に貼っていくのかとすごく疑問に感じたし、このアスリートモールがどう使われるか検討しないと、なんとか倒れみたいなことになると思います。</p>
青木副市長	やはり基本的に2棟あって、1本でとおっていたものを間に入口を作るという事になっていますから、当初のイメージとは根本的に変わっているのではないかというのがありますし、前の物を考えるとしたら、もっとドアが無いような構造がもう少し工夫してできない

<p>木下委員長</p>	<p>かというような事も。建築の方と話をもう少し詰めたら。縁を切ったやり方で何か、ドアが要らないような方法ができないのかとかいう事も考えられた方がいいかと思います。</p> <p>メッセとの繋ぎ方、具体的にどういうアイデアが考えられるかというケーススタディですね。それと、アスリートモールの使い方。例えばこういうケース、具体的に落としていく。今はイメージですが、それがここにどう反映されていくかといった具体的などころですね。それがリアルだとどうかという事を判断していくという事だと思います。やはりにぎわいがあるスペースになるとそれはそれでいいと思いますので、ただのがらんだりのスペースよりも何らかの仕掛けがある方がよいと思いますので、検討していただきたい。</p> <p>いかがでしょうか。それでは、アスリートモールについてはこの辺にしたいと思います。</p> <p>これで、事項書でいきますと、1つ目の段が終わりました。続いて、その2です。これは事務局さんをお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局（川合）</p>	<p>お手元にお配りしております資料6をご覧ください。シンポジウムとして開催させていただきました「第2回検討委員会議事録」としましてご用意させていただきましたので、内容について御確認いただきまして、もし御意見等ございましたら、今月中に事務局の方までご連絡をいただきますようよろしくお願いいたします。ご連絡をいただきまして、その場合の訂正を加えた上でホームページの方にアップをさせていただくという形でやりたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>今回の会議につきましてでございますが、5月末から6月の上旬ぐらいというように考えております。本日いろいろ皆様方から御意見を承りましたので、できる限り早い段階でそれをまとめて、再度お示しをさせていただくという形をと考えております。日程につきましては、今回と同様に、木下委員長はじめ、委員の皆様にご予定を伺いながら調整をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。なお、基本設計に関しましては、スケジュールがございしますが、本日御協議いただきました内容を踏まえて、もう一度再度検討を行いまして、内容をまとめました資料を、5月の市議会の協議会にご報告させていただきます。その後、本日お配りしました資料4という形、概要版という事で、次の委員会までに再度承認</p>

	<p>されまして、作成をいたしまして 6 月以降市のホームページでの公表ができるようにと思います。委員会での検討を含め、基本設計の詳細の内容につきましては、6 月末を目途にとりまとめたいと考えております。</p> <p>以前も申し上げましたが、現在も概ね週一回のペースで打ち合わせもしており、できるかぎり皆様方には最新の資料をお伝えいただきまして、お気づきの点や御意見を頂戴できればと考えております。よろしく願いいたします。基本設計終了後には実施設計に着手するわけですが、同時に並行して本日のアスリートモールの事等の関係もですが、施設供用開始後の管理運営手法の内容の検討についても引き続き議論をいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。また、最後になりますが、本日の委員会の議事録につきましても、後日お渡しをさせていただきまして御確認いただいた上で、公表していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。以上でございます。</p>
木下委員長	<p>はい、ありがとうございました。次回については、5 月下旬か 6 月上旬か、その辺りで開かれるという事で、日程については事務局さんの方で調整していただくという事ですね。</p> <p>はい、それ以外に何か。</p>
事務局（川合）	<p>最後でございますが、スポーツ文化振興部長野呂よりご挨拶させていただきます。よろしく願いいたします。</p>
野呂部長	<p>いろいろ御意見をいただきましてありがとうございました。いただきました御意見につきましては、もう少し検討をしながら進めていきたいと思っております。次回からはもう少し具体的な内容について整理をして、また御意見をいただけるようにしていきたいと思っております。いろいろな検討をしておりますが、全体事業費というのが頭にありまして、あまり高くもできないし、それかといって機能を落とす訳にもいかないというところでいろいろ検討をしております。それと、先程も申しましたように、平成 28 年度のオープン of the 予定をしておりますので、そうするとその年 1 年間を通じていろいろなイベントや大会を誘致したいなと思っております。そうしますと、やはりある程度大きな大会となると 3 年前から誘致しないという事で、今年からそういった大会の可能性についてあたっていろいろ</p>

事務局（川合）	<p>かなとも思っています。そのためにも先程の基本設計概要版などを使って各方面に協議をしていく中で、具体的にこんなものが要る、こんなものが欲しいとかいう意見も、大会の関係者から出てくると思いますので、そんなところも早い目にあたって対応できれば思っておりますので、いろいろ御意見いただけますようよろしくお願いいたします。今日は本当にありがとうございました。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>以上で委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
---------	---